



ECHONETLite

H26.05.30\_朝日新聞社シンポジウム一色講演

# HEMS認証支援センターの活動紹介

2014年5月30日

JSCAスマートハウス・ビル標準・事業促進検討会 HEMS-TF座長  
 神奈川工科大学 ホームエレクトロニクス学科 教授  
 慶應義塾大学 特任教授  
 HEMS認証支援センター センター長  
**一色 正男**



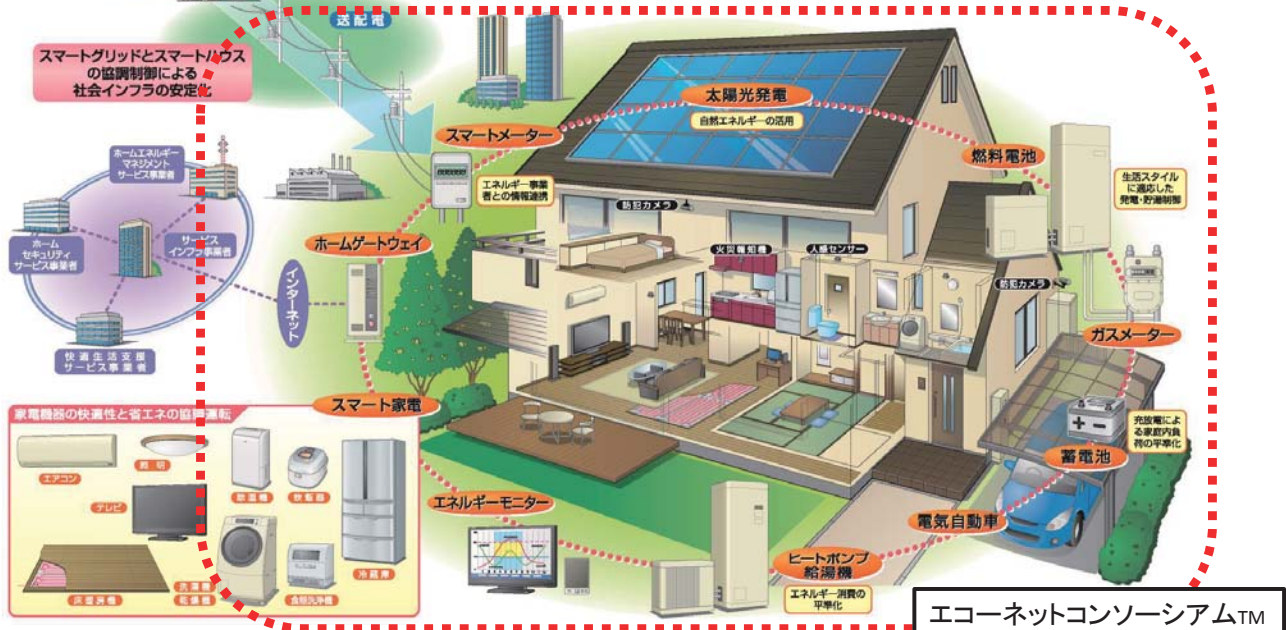
Kanagawa Institute of Technology, JAPAN

## HEMS (Home Energy Management System) ⇒ スマートハウス



註: エコーネット(ECHONET)とは日本発  
国際化を目指す家電同士の通信規格

### HEMSが対象とする機器のイメージ



出所: エコーネットコンソーシアムWebサイトより <http://www.echonet.gr.jp/index.htm>



Kanagawa Institute of Technology, JAPAN

# 【経済産業省 スマートハウス国際標準化研究事業】

本プロジェクトはスマートハウス・HEMSの普及拡大が目的です。  
ECHONET Liteに適合した住宅機器の技術実証や、教育を中心に活動しています。

## 3つのテーマを中心に活動

- 1) ECHONET Lite相互接続環境( 認証支援センター )の整備
- 2) 新規参入事業者向けのHEMS開発支援キットの開発
- 3) 安全性等を考慮したHEMS及び接続機器の運用ルール・ガイドラインの策定支援

### 認証支援センターの外観と設備

企業様に相互接続試験環境を提供/地元企業への支援にも注力



### Webサイト

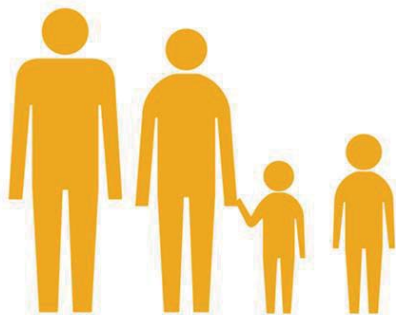
<http://sh-center.org/>

試験予約、SDKのDL、  
各種資料取得が可能



# スマートハウスで重要なこと

**住まう人が主役！**



&



(スマート)  
**住まう人のための**

(ハウス)  
**家**



# オープンなプラットホームとしてのECHONET Lite

様々なプレイヤーが相互につながりサービスを創造



## 海外機関との連携に関して(国際標準化推進)

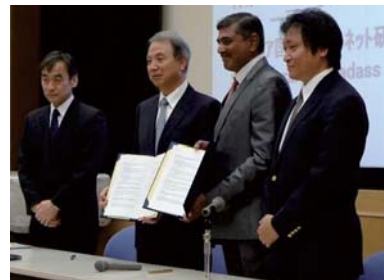
マレーシアのNav6を皮切りに海外展開をスタート  
経済産業省、慶應大学、エコネットコンソーシアムと協働で推進

- HEMS(ECHONET Lite)認証センターの海外(アジア)展開  
第1段:National Advanced IPv6 Centre of Excellence (NAv6, Malaysia)
- 海外国際標準化団体とのロゴ認証プログラムの実現  
ZigBee Alliance、Wi-SUN Alliance
- 産官学連携したECHONET Lite教育プログラムの策定

関係者間で国際展開における連携を約束  
(2013.06.21普及シンポジウム)



Nav6への技術移転における本校との調印式  
(2013.12.16普及シンポジウム)



# ECHONET Liteのアプリ例(全てオープン！)

## ECHONET Liteのコントローラを擬人化して、照明を制御！

<http://www.youtube.com/watch?v=TTbMXyG1JQ8>

### 照明制御の流れ

1. レイちゃんを出現させる
2. 音声を認証させての照明ON
3. 音声を認証させての照明OFF
4. 終わる

### 操作機器画面



Kanagawa Institute of Technology, JAPAN

7

## 2014年4月21日：KAITがSMA認証機関に認定

<http://sh-center.org/hemsinfo/1755>

報道関係者各位

神奈川工科大学スマートハウス研究センター  
センター長 一色 正男

神奈川工科大学HEMS(ECHONET Lite)認証支援センターが  
初のECHONET Liteスマートメーターの第三者認証機関になりました  
～スマート電力量メータ・HEMSコントローラ間(Bルート)の認証業務を開始～

神奈川工科大学HEMS(ECHONET Lite)認証支援センター(神奈川県厚木市、センター長：一色正男、以下HEMS認証支援センター)は、2014年4月21日、一般社団法人エコーネットコンソーシアム(東京都港区新橋、代表理事：平原茂利夫、以下エコーネットコンソーシアム)より初のスマート電力量メータ・HEMSコントローラ間(Bルート)の認証機関としての認定を受けました。

#### ◇経緯

経済産業省が設置したスマートメーター制度検討会において、2011年2月に、費用対効果等を十分考慮しつつ、2020年代の可能な限り早い時期に、全ての需要家にスマートメーターの導入を目指すことが示されました。

また、スマートハウス関連システムの導入加速化を図ることを目的に2012年6月に官民連携の検討会議として設立された、スマートハウス・ビル標準・事業促進検討会の第3回会合(2013年5月開催)において合意をされたHEMS-スマートメーター(Bルート)運用ガイドライン[1.0版](※1)の中で、スマートメーターとHEMS間の機器接続認証を第三者認証機関で行うことが決定され、第14回スマートメーター制度検討会(2014年3月開催)においても報告されました。

これを受けて、エコーネットコンソーシアムでは、2013年12月にスマート電力量メータ・HEMSコントローラ間アプリケーション通信インタフェース仕様書(以下、SMA仕様書)と認証試験仕様書を制定し、仕様適合性認証は、相互接続性を担保するために、第三者機関による実機試験認証とすることを決定しました。

そして、2014年4月21日、HEMS認証支援センターが、エコーネットコンソーシアムより、初の認証機関として認定を受けました。

※1 [http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/smart\\_house/pdf/003\\_s04\\_00.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/shoujo/smart_house/pdf/003_s04_00.pdf)



Kanagawa Institute of Technology, JAPAN

8